2023年度 豊友会中部支部“秋の集い”報告

中部支部 大脇孝行

2023年度中部支部“秋の集い”が、5月に開催された春期総会に引き続いて10月14日に対面開催されました。新型コロナウイルス感染症も5類に分類され、殆ど日常生活がコロナ禍以前に戻ったなかで、48名の参加者の集いがホテルリソル岐阜（岐阜市）において開催されました。会場内では、会員の方々同士の久しぶりの再会を懐かしみながら、お互いの近況報告などの会話が溢れ、和やかなムードの会となりました。以下にその概要を報告致します。

□第一部 11：00～12：00　　司会・進行 横山副支部長

司会による開会宣言が行われ、その後プログラムに沿って滞りなく進められました。また、開会の辞の後に、この5月に逝去された故 太田良三さんの冥福を祈って黙祷が行われました。

1、支部長挨拶　　羽賀支部長

冒頭挨拶の後、下記の事項について述べられました。

・2024年度春の総会は、久々にくすり博物館での開催を予定している。

・次回の秋の集いは、会員の意向を聞きながら開催方法を考えて行きたい。

〇最後に、新入会員の入会率が非常に低いために、会の魅力をアップさせ、今後の入会率を高めて行きたい旨の報告がありました。

２、賀寿祝い者紹介　　横山副支部長

・米寿2名、傘寿5名、喜寿9名、古希10名の方々が紹介されました。

・代表として、上坂雅春様よりお言葉を頂きました。

３、豊友会本部挨拶　　豊友会本部　飯島事務局長

冒頭挨拶の後に、本部の組織紹介がなされました。

・豊友会設立記念 40 周年の記念事業及び各行事草案の紹介

・本部任務の紹介

→支部活動支援、豊友会便りの発刊、ホームページ管理、理事会運営、予算管理など

・最近の動きとお願い

・豊友会便りとホームページについて、伝達のし易さについて工夫を考えている。

→見易さ、分かり易さ、面白さなど

・会員数の推移について

→2023 年から 2040 年には 1879 名から 1850 名に減少する。会員数を増やすことを考える。

４、講演会　　－ここまできた“がん”との向き合い方－

くすり博物館館長　森田　宏氏

化学療法を含めてがん治療の進展に伴い、かつては不治の病とされてきた癌に対する付き合い方や考え方ついて説明がなされ、日頃、健康に気を遣っている私たちにとって、有意義で興味ある内容でした。

【集合写真撮影】

・続いて、元気な姿をアピールする場として、参加者全員の集合写真を撮りました。

□第二部 懇親会 12：20～14：00　　司会 小島理事

・続いて、来賓の川島工園総務部長　横山正晴氏から開会のご挨拶および乾杯の御発声を頂いた後、親睦会が開始されました。新型コロナ感染症のレベルが 5 類に引き下げられ、日常生活が戻ってきましたので、コロナ禍以前の活発な交流の会席となり、会員同士の楽しい語らいの中で、一喜一憂のビンゴゲームを楽しみながら大変有意義なひと時を過ごすことができました。

最後は、最初にビンゴゲームに当選した犬飼氏に中締めの挨拶と締めの手拍子の音頭を取って頂き、閉会となりました。次回は、更に多くの参加者のもとで、更に楽しく有意義な会を催すことができることを祈念しながら帰途につきました。

－以上－